

札幌山の手高校 女子バスケットボール部

訪問
レポート

西区 高

電車の中や道で擦れ違う活を送っているんだろませんか？今回は高校の張る高校生の姿を皆さん

★山の手高校ってどんな学校？

明治44年に創立され、3年前に100周年を迎えた歴史ある私立高校。西区で唯一体育コースがあり、道外出身の生徒もいます。

★全国大会の常連校！

今回訪問した女子バスケットボール部は、32年連続で夏の全国大会への出場を果たしている強豪。全国大会での優勝を目標に、毎日厳しい練習に励んでいます。



訪問レポートその1 部活動の様子

8月に行われた全国大会に出場した女子バスケットボール部。午後3時ごろに体育館を訪れると、授業を終えた部員たちが集まっていました。

開始前に円陣を組み、全員で掛け声を出して気合いを入れます。



1対1の練習(左)とパス練習(下)。試合さながらのスピードと迫力に思わず息のみました。



始めはシュート練習から。その後、ポジションごとにパスや守備の練習を行います。

訪問レポートその2 部員インタビュー

部長を務める3年生の齋藤麻未さんと、同じく3年生で寮生活を送りながら部活動に励む塩野絵梨さんにお話を聞きました！

ーバスケットを始めたきっかけを教えてください！

もともと体を動かすことが好きで、習い事を始めた兄を見て私も何かしたいと思い、近くの体育館でミニバスケットボールを始めたのがきっかけです。

ー出身はどこ？

網走市です。女子バスケ部の寮から通っています。

ー部長として意識していることは？

練習中に積極的に声を出すことです。

ー寮生活ってどんな感じ？

今は7人が入寮していて、秋田県出身の部員もいます。寮には寮母さんがいて、ご飯を出してくれたり掃除をしてくれたりしています。部員も当番で皿洗いなどを手伝います。

ー全国大会で感じた事は？

全道大会では相手チームに通用したプレーが通用しない場面があり、レベルの高さを感じました。

ーオフの日の過ごし方は？

部員みんなで遊んだり、ご飯を食べに行ったりします。よく行くお店は琴似にある「いこい」です！



部長の齋藤さん



寮生の塩野さん